

2017年5月2日
日本胎教協会 山村

お宝祭



【 内容 】

■ お宝☆トークライブ 『幸せの鍵は〇〇?』

※京都新聞 4/11(地域版),4/17(社会福祉面)

◎トーク:明和政子先生 (京都大学 大学院 教育学研究科 教授 東京大学客員教授、科学者)

≪当日取材≫みやざき中央新聞
※明和先生 4/14 写真の撮り直しのため

◎ナビゲート:龍和 Ryowa(書道家)

■ お宝☆交流会

交流会では、グループ(お題)に分かれて、意見交換、新しいアイデアが生まれたり、自分の可能性に改めて気づく場を目指します。今からできる「何か」が見つかったり、一緒に行動する仲間が見つかるかも！名刺をお持ちの方は、ご持参ください。

■ お宝☆抽選会(景品募集中) オリジナル図書カード、協賛品などの抽選会

■ 参加者 およそ 110 名

(おなかの赤ちゃんを含む)

- ・門川大作氏(京都市長)
- ・保育連盟 副理事、幼稚園、保育園の園長
- ・京都市総合政策室より数名
- ・4月より新設の京都市はぐくみ局(後援)
- ・地域のために活動する市民を応援したい市職員
- ・お宝バンク登録事業者
- ・社会がよりよくなる活動を広げたい方
- ・子育て事業に関わる方
- ・児童福祉、社会福祉の発展を思う人
- ・教育関係者
- ・子ども事業の責任者様、明るい社会
- ・幸せな家庭づくりを思う人
- ・より住みやすい町づくりをお考えの方
- ・全国の胎教アドバイザー30名

5月7日(日)京都西本願寺の聞法会館で、参加型シンポジウム「お宝祭」を開催します。

思い(お宝)が集まり、集まってくださった方の「思い」や「できること」を、このイベントでは「お宝」と呼びます。ひとりひとりの「お宝」を持ち寄り、新たな「お宝」を生み出すことが「お宝祭」の目的です。

本イベントから、幸せな家庭、平和な社会が広がるために、ぜひ、取材いただきたくお願い申し上げます。
・メディア(新聞、テレビ、雑誌、ラジオ、その他)

■ 後援 京都市/京都市教育委員会/京都府教育委員会
京都新聞 / 京都新聞社会福祉事業団

■ 話題 京都新聞(4/11 地域版)、京都新聞(4/17 社会福祉面)
FMラジオ 4/16「Let's KYO Together!」α-STATION
(協力:京都市総合企画局)

【 「お宝祭」開催の背景 】

日本胎教協会では、よい胎教(おなかの赤ちゃんにより環境づくり)の普及啓発活動しております。

1. 人口の維持には、出生率 2.07 が必要といわれ、少子化問題を抱える日本は、深刻な状況です。出生率のワースト 2 位は京都府と知りました。よい胎教は、幸せな家庭づくりにつながり、こどもを産み、育てたい、家庭を持ちたいと思う若者を増やします。この地域で子育てがしたいと思える活動をしようと思いました。

2. 母子手帳の裏表紙に「京都市は妊娠初期からの子育てを応援します」と記載があり、共感、共鳴し、私も”じぶんごと”として取り組むことに決めました。

3. 日本の市区町村 1742 か所(2016 年)
平成 14~19 年:東山区ワースト 2 位、上京区ワースト 14 位、下京区ワースト 30 位、平成 20~24 年:京都市は 1675 位と知り、責任を感じました。

京都市は、小学校発祥の地、幼児教育発祥の地です。京都市は 日本最初の小学校と幼児教育の発祥の地なので、「胎教(おなかの赤ちゃんからの子育て)」の充実も日本最初を目指し「きょうとおもしろ情報 <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000013266.html>」の 10 番目(日本初の胎教研究チーム結成、胎教を公的に発信した最初の地)を目指します。

京都市と協働で「よりよい地域へ」と思い動く人の協力、明るいこどもの未来への熱い思いを持つ胎教アドバイザー®がスタッフで全国から 30 人集まり「お宝祭」開催が実現します。

〔 お問い合わせ 〕 日本胎教協会 山村尊子
京都市下京区中堂寺庄ノ内町 50-18 WEB <http://taikyo-jp.net/>
電話/FAX 075-322-0126(平日 10~17 時)
メール nfo@taikyo-jp.net